

我々、署名者は国際政治会議に参加し、1947年のパリ平和条約の妥当性について再検討した。我々は、現段階までの全ての討論と証拠を認め、理解した。その上で、この会議の主催者である一つの国際的に合法的なものとしてハンガリー国王議会が国としてハンガリーの神聖な国々を代表することに対して合意した。

この会議は1969年と1986年のウィーン条約法条約に即する形で招集されてきた。目的は1947年のパリ平和条約を見直すため、その妥当性と持続可能性を再定義するため、そして考えられる落としどころを話し合いそれに関心を示す全ての党が共通理解に至った上でパリ平和条約の未来を決めるためであった

条約の署名依頼70年が経ち、社会、政治、経済などの関係性が急激な変容を遂げ、さらに世界規模で指導者と市民の間に大きな経済的、道徳的な隔たりができて今、この見直しは避けられなかった。

我々は、ウィーン条約法条約によると全ての党もしくは後任者に受け入れたとされるその名付けられた条約は国際法において明文化された合意だということを立証した。その文書は、連合国とハンガリー間で結ばれたある条約である

ウィーン条約法条約の [2.Article's1.d)Point,the2. Title's19 Article and the IV. Part's 39 Article. によると、この再検討はパリ平和条約への異議とともに'pacta sunt servanda'(合意は必ず実現されなければならない)という原則もまた適用される。

既に提示、記載され、議定書上で確認された直接的、または間接的な証拠に基づくと、IPC-2017の出席者らはハンガリー国王議会の立場は政党な理由に裏打ちされており、匿名投票が下記の決議を発行したことに合意する。

国際政治会議(IPC-2017)の決議 全ての人類が持つ尊敬と平等の権利を認知することはこの世界における自由、正義、平和の基本を構成する。これによって我々はこれに関わる全ての党に向けて、1947年のパリ平和条約は無効条約だと宣言し告発する。この決議の必然的結論として、パリ平和条約に置いて言及された全ての政治的制限はその効力を失う。そして、ハンガリー国王議会が提示した聖なる王の法と秩序が法律的にそれにとって代わる。

Fehervarcsurgo 2017年3月4日 元の文書はハンガリー語でかかれ、2ページにわたり、2ページ目にある本物のサインと共にのみにおいて有効。ハンガリー国王議会のアーカイブで閲覧可能。招待された各国政府と国際連合にコピーを送付した。

Holy Crownの主権返還宣言 ハンガリー国王会議

2017年3月4日 ウィーン条約法条約法によると現在独立国家であるハンガリーの神聖な国—略称ハンガリー王国—は、その継承告知において国際法に即した国家継承の原則を使用する。これによって'magyarorszagalaptorvenye'で名付けられた法的存在、一方的な法的告知と知られる'magyarorszag'はこれ以上法的ではなく、国における全ての動産、不動産をハンガリー王国に変換される。同時にハンガリー王国は'clean slate'の原則も適用。したがって、前国家のあらゆる契約は王国には適用されない。ハンガリーの国家は彼らの先祖が持った元来の法と秩序に立ち返る。

2017年3月4日